

地方政府の長の生存分析

—— 首長・議会関係と政権安定性 ——

築山宏樹 …… 九七

自民党政権下の閣僚人事と参議院議員

—— 参議院自民党における人事慣行の形成と動揺 ——

松浦淳介 …… 三三

官邸主導の下の規制とガバナンス

—— 第二次安倍政権の政策過程 ——

茂垣昌宏 …… 一四九

サステナビリティ・トランジション論に見る空間スケールの概念化による

分析視座・枠組み(再)構築の試み

—— 重層的視座(MLP)の深化に伴う意義及び含意(その3・完) ——

青木一益 …… 一六九

知事選挙における保守分裂選挙

—— その動向と背景 ——

石上泰州 …… 一九一

日本の国家公務員制度は閉鎖的か?

—— 官民人事交流等による民間企業からの受け入れ職員の分析 ——

小田勇樹 …… 三二五

近代東アジアにおける鉄道政策とその変容

——朝鮮鉄道一二年計画とその前提としての満鉄委託経営問題——……………李 容相… 四二六

Every Advantage Has Its Disadvantage: The Effects of Social Media on

Democracy …………… LEE, Yoonseock… 四二一

RIAZ, Waqas

国会審議映像検索システムと同形異言語の分析

——金大中と金日成——……………増山 幹 高… 四六四

Apology in Japanese Foreign Policy: Why an Apology Is Made by a State

Leader …………… TAKASHIMA, Asako… 四七〇

大山耕輔教授略歴・主要業績……………三七五

佐藤春夫に見る幸徳事件の影響について

——反発と恐懼を中心に——

玉井清

序

第一章 生い立ちと故郷「新宮」について

第二章 幸徳事件と「愚者の死」について

第三章 幸徳事件をめぐる永井荷風の転換

結語

序

昭和一六（一九四一）年一二月の真珠湾攻撃により日米戦争が勃発した。日本軍は、緒戦こそ攻勢を見せたものの翌一七年六月のミッドウェー海戦を転機に米軍の反攻を受け劣勢に立たされていく。同年末の一二月に決定され翌一八年初頭にかけて実施された西太平洋上のソロモン諸島ガダルカナル島からの撤退は、日本軍劣勢の事実を隠すことができなくなり国民に公にしなければならぬ出来事であった。この日本軍の後退を糊塗し戦意高揚